

小学校外国語活動における文字指導の在り方

ーフォニックスと絵本を活用し、音声指導から文字指導へー

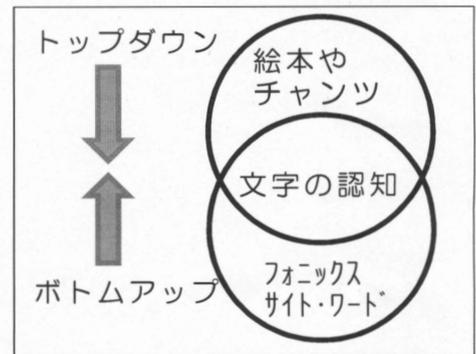
I 研修の内容

2013年に文部科学省から公表された「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」によると、「小学校における英語教育の拡充強化」とある。具体的には、英語教育の教科化、そして文字指導の導入が挙げられている。これまで、音声指導中心であった小学校外国語活動から文字指導も含んだ英語教育への転換を見据え、フォニックス指導や絵本指導を活用した効果的な文字指導の在り方について研修し、1年間の成果としてオリジナルのフォニックス・ルールを取り入れたデジタル絵本を作成した。

II 研修の成果と課題

山梨大学の田中武夫教授のもとで、小学校外国語活動について1年間の研修を積んだ。大学の講義や演習だけでなく、英語の学会や公開研究にも多く参加できたことにより、多くの経験を重ねることができた。研修テーマである文字指導を行うにあたり2つのアプローチがある。1つはボトムアップ・アプローチにおけるフォニックス指導やサイト・ワード指導、もう1つはトップダウン・

(畑江, 2014) を参考に作成

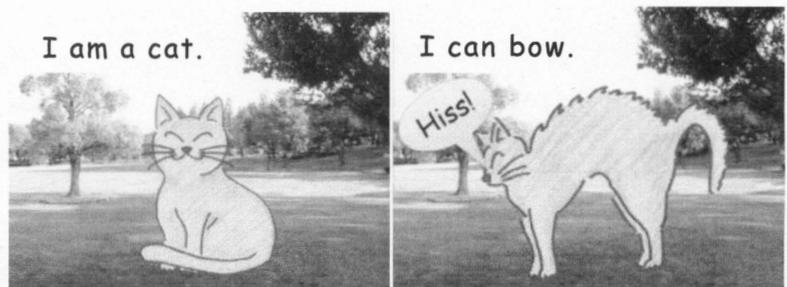


アプローチにおける絵本指導やチャンツである。これらの指導には、効果的な指導手順があり、子どもの知識と能力の高まりを見極めながら適切な方法でステップを重ねていく手法を学ぶことができた。また、それらの研修をもとに PowerPoint を使用したオリジナルのデジタル絵本を作成できたことは大きな成果である。焦点を絞ったフォニックス・ルールを取り入れ、自分なりの構成上のルールに沿って作成したこの絵本を活用し、文字指導の在り方を現場において検証していきたい。実践を重ねていく中で、この内容の適切さや子どもの反応などを参考に改善を行っていくことも課題である。

このような貴重な研修の機会を与えてくださった山梨県教育委員会をはじめ、甲州市教育委員会、甲州市立東雲小学校の諸先生方に深く感謝したい。

III 成果物

フォニックス・ルールを取り入れたオリジナルのデジタル絵本 (PowerPoint)



(東雲小学校 小宮山 公仁)